

# 遠野市六次産業化・地産地消推進戦略



平成28年 2月24日

遠野市六次産業化・地産地消推進協議会

# 遠野市六次産業化・地産地消推進戦略

地域総ぐるみの六次産業化で地域資源の付加価値向上！

## ● 六次産業化…とは？

…農産物や地域資源を有効に活用した農業者等が加工・販売等の事業の多角化及び高度化する取り組みをいいます。

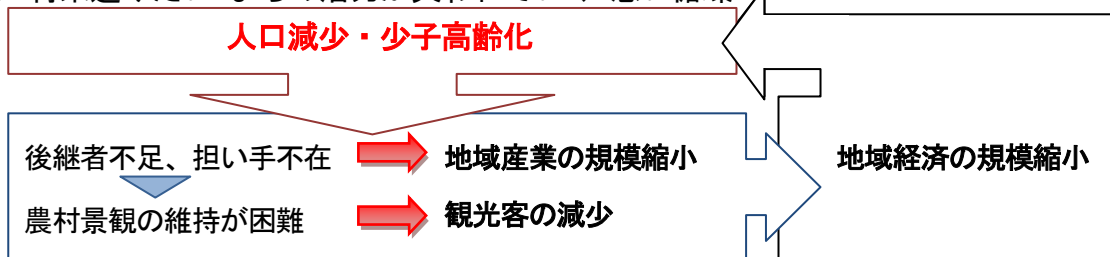
また、この戦略の中では、農業者と商工業者等が通常の商取引関係を超えて協力し、お互いの強みを活かして新商品・新サービスの開発を行い、新しい需要開拓を行う“農商工連携”も含まれます。

## ● 地産地消…とは？

…地域で生産された農産物をその生産された地域内において消費したり利用したりすることをいいます。

### 【推進に向けた課題】

#### ◆ 将来避けたい まちの活力が失われていく 悪い循環



#### ◆ 地域活性化のために 取り組むべき課題

##### 遠野の豊かな地域資源の活用

農産物、鉱工業品、自然・文化、風景や観光施設など

- ・観光客や購買者の需要動向把握
- ・新商品や新サービスの開発力向上
- ・販路拡大
- ・支援体制の充実

地域総ぐるみの六次産業化で地域資源の付加価値向上！  
遠野市六次産業化・地産地消推進戦略

### 【目標】

六次産業関連効果額 H26 16.5億円 → H32 17.6億円（1.1億円増）

### 【方向性】

- 地域資源の掘り起こしと活用 …産学官連携による地域資源の掘り起こし
- 六次産業化、農商工連携の促進 …新商品、新サービスの開発支援
- 地産地消等・農産物の地域内利用と交流の促進 …産直、学校給食の地域食材の利用、道の駅遠野風の丘魅力向上
- 販路拡大の促進 …商談会、展示会、産地見学会
- 支援機関の連携・充実 …支援機関の連携、研修会、交流会
- 6つの重点プロジェクト …6G★プロジェクト



【推進体制】

◆ 産業分類の枠組みを超えた支援機関の連携

## 遠野市六次産業化・地産地消推進協議会

遠野ふるさと公社

遠野市産直連絡協議会

遠野市観光協会

遠野商工会

花巻農業協同組合  
(遠野地域営農センター)

[講師]

東北農政局 (岩手支局)

(株)パイロットフィッシュ

6次産業化プランナー



(株)東北銀行 (地域応援部)

(行政機関)

岩手県 (遠野農林振興センター)

遠野市教育委員会  
(学校給食センター)

遠野市(六次産業推進本部)

本部長 (協議会 会長)

副本部長 (協議会 副会長)

本部長 (主幹) ※総括企画推進員

本部長 (遠野市の産業振興部及び  
農林畜産部の主要課長等)

遠野市六次産業推進チーム  
※企画推進員として  
戦略を推進する。



## 遠野市六次産業化・地産地消推進協議会

(事務局) 遠野市六次産業推進本部  
(遠野市農林畜産部農家支援室)  
0198-62-2111 (内線 850-117)  
<http://www.city.tono.iwate.jp>



---

# 遠野市六次産業化・地産地消推進戦略

---

## 《 はじめに 》

### (1) 戦略策定の趣旨

第2次遠野市総合計画基本構想では「永遠の日本のふるさと遠野」を将来都市像に掲げ、遠野スタイルの創造・発展を基本理念にまちづくりを推進することとされています。

遠野市六次産業化・地産地消推進戦略は、遠野市総合計画に即し、遠野スタイル創造・発展総合戦略の重点プロジェクトとして、遠野市の地域資源を活用した生産、加工、販売を一体的に取り組む六次産業化や農商工連携、地産地消等の取り組みを地域総ぐるみで推進するための方策をまとめたものであり、地域産業の振興のための道筋を示すものです。

### (2) 目標年度

戦略期間	平成 28 年度から平成 32 年度まで
目標年度	平成 32 年度

### (3) 進行管理

遠野市六次産業化・地産地消推進協議会は、地域資源を活用した六次産業化や農商工連携、地産地消等の取り組みを推進し、遠野市六次産業化・地産地消推進戦略で掲げる成果目標の達成状況を把握するとともに、必要に応じて見直し改善を図るものとします。

# 第1章 現状と課題

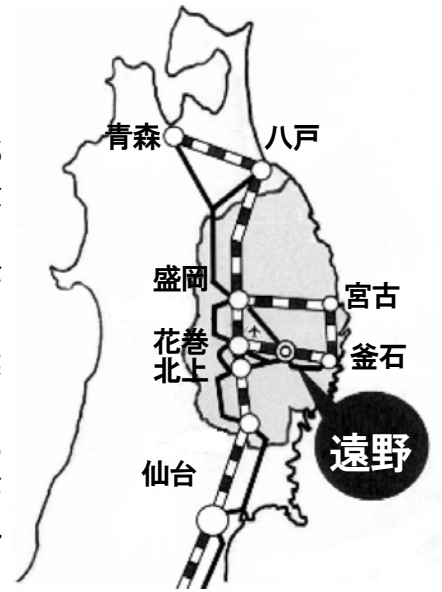
## (1) 遠野市の概況

遠野市は、岩手県を縦断する北上高地の中南部に位置し、東西、南北ともに約38km、総面積は825.62km<sup>2</sup>です。

標高1,917mの早池峰山を最高峰に、標高1,000m前後の山々と標高700m程度の高原群が周囲を取り囲み、中心部から周辺部へ向けてなだらかな勾配となっています。市域の中央部に遠野盆地があり、市街地を形成しています。猿ヶ石川が大小多くの河川と合流しながら西走し、それらの河川沿いを中心に耕地と集落が形成され、田園風景と農村景観が広がっています。

冷涼な気候と豊かな自然環境を活かした農林水産業を基幹産業とし、米や野菜、畜産を組み合わせた複合経営がなされています。

藩政時代には遠野南部家1万2千5百石の城下町として内陸部と沿岸部を結ぶ宿場町として栄えました。明治43年に柳田國男が著した『遠野物語』の舞台として、今では観光地としても知られています。



## (2) 遠野市の人口

遠野市の総人口は減少が続き、今後も減少していくと予想されています。また、就業人口は総人口の減少とともに減少し、特に第1次産業の割合が減少し、第3次産業の割合が増加傾向にあります。

年齢別人口の推移

	国勢調査						将来見通し	
	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	
総人口	33,898	33,108	32,364	30,422	27,519	25,383	23,291	
年少人口	5,470	4,574	3,931	3,412	2,903	2,544	2,230	
(0~14歳)	16.1%	13.8%	12.1%	11.2%	10.5%	10.0%	9.6%	
生産年齢人口	20,663	19,398	18,262	16,835	14,183	12,531	11,163	
(15歳~64歳)	61.0%	58.6%	56.4%	55.3%	51.5%	49.4%	47.9%	
高齢人口	7,765	9,136	10,171	10,175	10,433	10,308	9,898	
(65歳以上)	22.9%	27.6%	31.4%	33.4%	37.9%	40.6%	42.5%	
世帯	10,050	10,347	10,142	9,888	9,522	9,065	8,594	

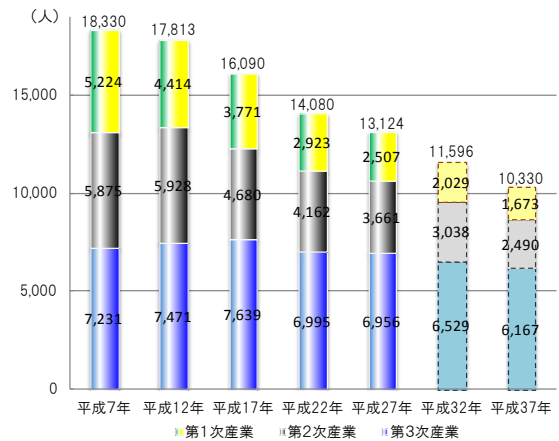
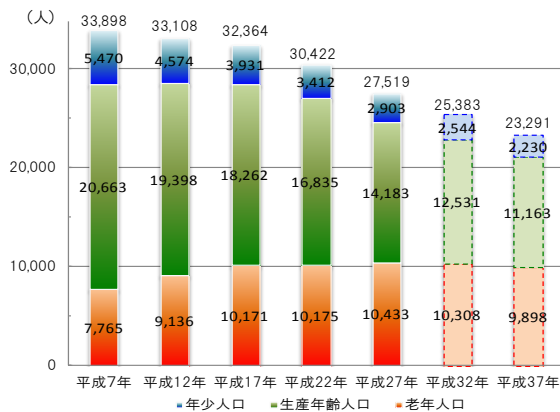
資料：遠野市総合計画

就業人口の推移

	国勢調査						将来見通し	
	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	
就業人口	18,330	17,813	16,090	14,080	13,124	11,596	10,330	
第1次産業	5,224	4,414	3,771	2,923	2,507	2,029	1,673	
	28.5%	24.8%	23.4%	20.8%	19.1%	17.5%	16.2%	
第2次産業	5,875	5,928	4,680	4,162	3,661	3,038	2,490	
	32.1%	33.3%	29.1%	29.6%	27.9%	26.2%	24.1%	
第3次産業	7,231	7,471	7,639	6,995	6,956	6,529	6,167	
	39.4%	41.9%	47.5%	49.7%	53.0%	56.3%	59.7%	
総人口	33,898	33,108	32,364	30,422	27,519	25,383	23,291	

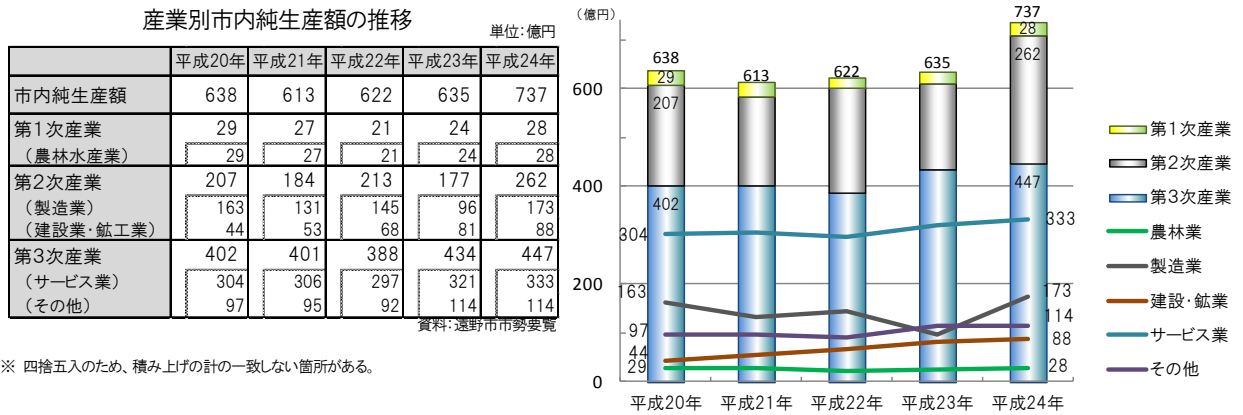
資料：遠野市総合計画

※ 四捨五入のため、積み上げの計の一致しない箇所がある。



### (3) 遠野市の産業別市内純生産額

産業別市内純生産額の推移をみると、農業生産額が減少し、製造業の生産額が高いことがわかります。



### (4) 推進に向けた課題

人口減少による後継者不足によって農林漁業が衰退していくと、遠野らしい農村景観の維持が困難になり、『遠野物語』が息づく風景を期待する観光客へも影響していきます。人口減少、後継者不足、そして観光客数の伸び悩みが重なると、市の経済規模が縮小し、まちの活力が失われかねません。

地域活性化を図るため、農産物、鉱工業品、自然・文化、風景や観光施設などの遠野の豊かな地域資源を活用した六次産業化、農商工連携、地産地消等の推進が必要です。

そのためには、観光客や購買者の需要動向を把握しながら、新商品や新サービスの開発力向上と販路拡大、更に支援体制の充実化が課題となります。

## 第2章 戦略の目標と方向性

### (1) 基本的な考え方

#### 地域総ぐるみの六次産業化で地域資源の価値と魅力を向上

農林水産物、鉱工業品、自然・文化・風景や観光施設などの遠野の豊かな地域資源を有効に活用し、農業者が生産から加工・販売に進出する取り組みや、農業者と企業等の商工業者との連携による新商品・新サービスの開発など、地域資源の付加価値を高めようとする取り組みを地域総ぐるみで推進します。

また、農業者と小売業者、消費者の交流を広げ、地域内で生産された農産物の域内利用と交流拡大を促進します。

### (2) 戦略目標の設定

六次産業化・地産地消推進戦略における目標は、平成32年度までに遠野市内の六次産業効果額を17億6000万円と設定します。

#### [6次産業関連効果額]

H26 16.5億円 → H32 17.6億円 (約1億円増)

(単位：億円)

	H26 (現状)	H27 (見込)	H28	H29	H30	H31	H32 (目標)
			(戦略期間) →				
製造品出荷額(食料品のみ)	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4
加工品出荷額調査(岩手県調べ)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
特産品販売額	6.8	6.8	6.9	6.9	6.9	7.0	7.0
農産物直売所売上額(売店除く)	5.0	5.5	5.6	5.7	5.8	5.9	6.0
(合計) 6次産業効果額	16.5	16.9	17.0	17.2	17.3	17.4	17.6

※ 四捨五入のため、積み上げの計の一致しない箇所がある。

### (3) 戦略の方向性

遠野市六次産業化・地産地消推進戦略は、遠野市総合計画に即し、遠野スタイル創造・発展総合戦略は、6つの推進方策と6つの重点プロジェクトとして推進します。

#### ● 地域資源の掘り起こしと活用

遠野の豊かな地域資源の活用を促進します。また、産学官連携による地域資源の掘り起こしに向けた調査研究を推進します。

#### ● 六次産業化、農商工連携の促進

地域資源を活用した新商品・新サービスの開発を促進します。

#### ● 地産地消等・農産物の地域内利用と交流の促進

農産物直売所、総合食育センター等と連携し、地元食材の利用拡大を図ります。

また、道の駅が有する結節点としての拠点機能の充実化を図ります。

#### ● 販路拡大の促進

商談会、展示会等への出展支援や産地見学会の開催等による販路拡大の機会を上げます。

#### ● 支援機関の連携・充実

遠野市六次産業化・地産地消推進協議会を中心に、商品開発や販路開拓等の研修会、交流会、商談会などを通じ、六次産業化・地産地消を推進する支援体制の充実を図ります。

#### ● 6つの重点プロジェクト

六次産業化・地産地消の取り組みを加速させる“6G★プロジェクト”を実施します。

### 第3章 六次産業化・地産地消の推進（6つの推進方策）

#### （1）地域資源の掘り起こしと活用（企画・検討段階）

##### ○ 地域産業資源の活用

農林水産物、鉱工業品、自然・文化・風景や観光施設などの遠野の豊かな地域資源を活用した新商品・新サービスの開発・生産を促進します。

特に、地域産業資源に指定された農林水産物や遠野市農林水産ビジョン（タフ・ビジョンⅡ）における生産振興の対象品目を活用した新商品開発については、重点的に支援していきます。

	生産振興対象品目	地域産業資源指定農林水産物
[水稲・転作作物]		米、大豆
[野菜]	ピーマン、ニラ、きゅうり、アスパラガス、琴畑かぶ、パドロン、カリフラワー	ほうれんそう、早池峰菜、クレソン
[果樹]		りんご、ブルーベリー、やまぶどう
[特用林産]		しいたけ、わさび
[畜産]		いわて牛
[内水面]		イワナ、ヤマメ

##### ○ 事業シーズ（種）の掘り起こし

大学等地域の高等教育機関による地域志向の教育・研究活動との連携を図り、地域資源を活用した新たな事業シーズ（種）の掘り起こしなどの調査・研究を推進します。また、試験研究機関との連携による新商品の分析調査を促進するなど、商品の品質保持を図ります。

##### [活動指標]

	H26 (現状)	H27 (見込)	H28	H29	H30	H31	H32 (目標)
大学等試験研究機関との共同研究 (件/年)	3	1	1	1	1	1	1

#### （2）六次産業化・農商工連携の促進（試行・実践段階）

##### ○ 新商品・新サービスの開発力向上

新商品・新サービスの開発に挑む事業者が参画する研修会や相談会を開催するほか、事業計画の作成支援を通じて、新商品・新サービスの開発力向上を図ります。

##### ○ 新商品・新サービスの可能性調査

地域資源を活用した新商品・新サービスの市場調査等、事業化可能性調査を支援し、購買者の需要を意識したイノベーション活動を促進します。

##### ○ 総合化事業計画認定等の促進

国の総合化事業計画をはじめ地域資源を活用した新商品・新サービスの開発に資する各種認定制度の取得を促進します。

##### ○ 地域食材の利用促進

外食・中食に適した地域食材の調査を実施するほか、事業者に対する情報提供を行います。

##### ○ 商品開発コーディネーター機能の充実

地域資源を活用した新たな取り組みに挑戦する事業者の相談窓口の設置のほか、専門的な立場から商品開発コーディネーターの助言・指導体制の充実化を図ります。

##### ○ 財政支援、金融支援等の活用

補助金等の財政支援や農林漁業成長産業化ファンド等の支援措置を有効に活用するほか、金融機関とも連携し、事業が円滑に実施できるよう金融支援の活用を図ります。

また、クラウドファンディングなど、新たな資金調達を試みも支援します。



[活動指標]

	H26 (現状)	H27 (見込)	H28	H29	H30	H31	H32 (目標)
相談等支援数(件/年)	23	40	50	50	50	50	50

[成果指標]

	H26 (現状)	H27 (見込)	H28	H29	H30	H31	H32 (目標)
六次産業化・地産地消法の総合化事業計画の認定数(延べ件数)	3	3	4	4	5	6	6
農商工連携促進法の農商工連携事業計画の認定数(延べ件数)	0	0	0	1	1	1	1
中小企業地域資源活用(足進法の地域産業資源活用事業計画)の認定数(延べ件数)	0	0	1	1	1	1	1
製造品出荷額(食料品のみ)(億円)	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4
加工品出荷額調査(億円)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2

### (3) 地産地消の推進(域内利用)

- 農産物等の地域内利用や生産者と消費者の交流  
地域農産物や加工品の販売を行う農産物直売所等の運営や食堂の展開など、生産者と消費者の交流を推進します。
- 学校給食における地域農産物の利用拡大  
学校給食に地域農産物を使用し、食育の推進を図ります。
- 市内の物産イベントへの参画  
JR釜石線のSL運行や国体開催、ラグビーワールドカップなど、遠野市や周辺地域での集客機会や、産業まつりや各種行事・祭事での新商品・新サービスの提供など、市内のイベントへの参画を促進します。

[活動指標]

	H26 (現状)	H27 (見込)	H28	H29	H30	H31	H32 (目標)
学校給食に使用する遠野産食材の割合(%)	65.3	65.3	65.5	65.8	66.1	66.4	66.6

[成果指標]

	H26 (現状)	H27 (見込)	H28	H29	H30	H31	H32 (目標)
農産物直売所売上額(億円)	5.5	5.6	5.6	5.7	5.8	5.9	6.0
特産品販売額(売店のみ)(億円)	6.8	6.8	6.9	6.9	6.9	7.0	7.0

### (4) 販路拡大の促進(域外販売)

- 商談会、展示会等への出展  
商談会、展示会等への出展を支援し、新商品の販売先となる流通業者等とのマッチング機会を作るほか、都市部での市場調査等を支援します。また、外食・中食事業者等を産地見学会等により招致を図り、地域農産物の販路拡大を促進します。
- 新空間への販路開拓  
地域農産物や新商品の海外販売促進活動やインターネット等仮想空間での新たな販路開拓への挑戦を応援します。

[成果指標]

	H26 (現状)	H27 (見込)	H28	H29	H30	H31	H32 (目標)
新商品の海外販売額(百万円)	0.0	0.3	0.4	0.5	0.7	0.9	1.0

## (5) 支援機関の連携・充実（支援体制）

- 地域での創業支援  
創業希望者に対する相談窓口の設置や創業支援塾等の開催、信用保証等の金融支援など、地域での創業を促進します。
- 小規模事業者の支援  
小規模事業者の経営計画の作成や、創意工夫による販路開拓に向けた取り組みを支援します。
- 金融支援措置の拡充  
チャレンジする六次産業応援資金など、六次産業化・地産地消の事業に対する金融支援を拡充します。

### [活動指標]

	H26 (現状)	H27 (見込)	H28	H29	H30	H31	H32 (目標)
相談等支援数（件/年）	23	40	50	50	50	50	50

### [成果指標]

	H26 (現状)	H27 (見込)	H28	H29	H30	H31	H32 (目標)
創業支援件数（件/年）	0	5	5	5	5	6	6
経営計画作成支援件数（件/年）	0	20	20	20	20	20	20

## (6) 6つの重点プロジェクト（6G★プロジェクト）

### ★ 道の駅「遠野風の丘」魅力UP！

地域活性化の拠点として、六次産業化や地産地消の結節点にふさわしい施設整備を進めるほか、運営機能の充実化を図ります。

### ★ 農産物直売所の安全安心対策

地産地消の拠点となる農産物直売所で販売される地域農産物の検査体制を構築するなど、安全安心対策を向上します。

### ★ ローカルベンチャースクール

地域おこし協力隊等の意欲ある若者を招致し、商品開発から起業まで、空き店舗の活用も含めたモデル事業として先行実施します。

### ★ 六次産業化新商品一覧

地域総ぐるみで六次産業化・地産地消を推進するために、市民がいつでも利用できる六次産業化新商品一覧の整備を進めます。

また、特に優れた新商品・新サービスを高く評価するしくみづくりを検討します。

### ★ 遠野ゆかりの店

遠野ゆかりの店探しを行い、遠野の地域資源の活用を促すほか、遠野ゆかりの店としての情報発信に協力します。

### ★ ふるさと名物応援宣言

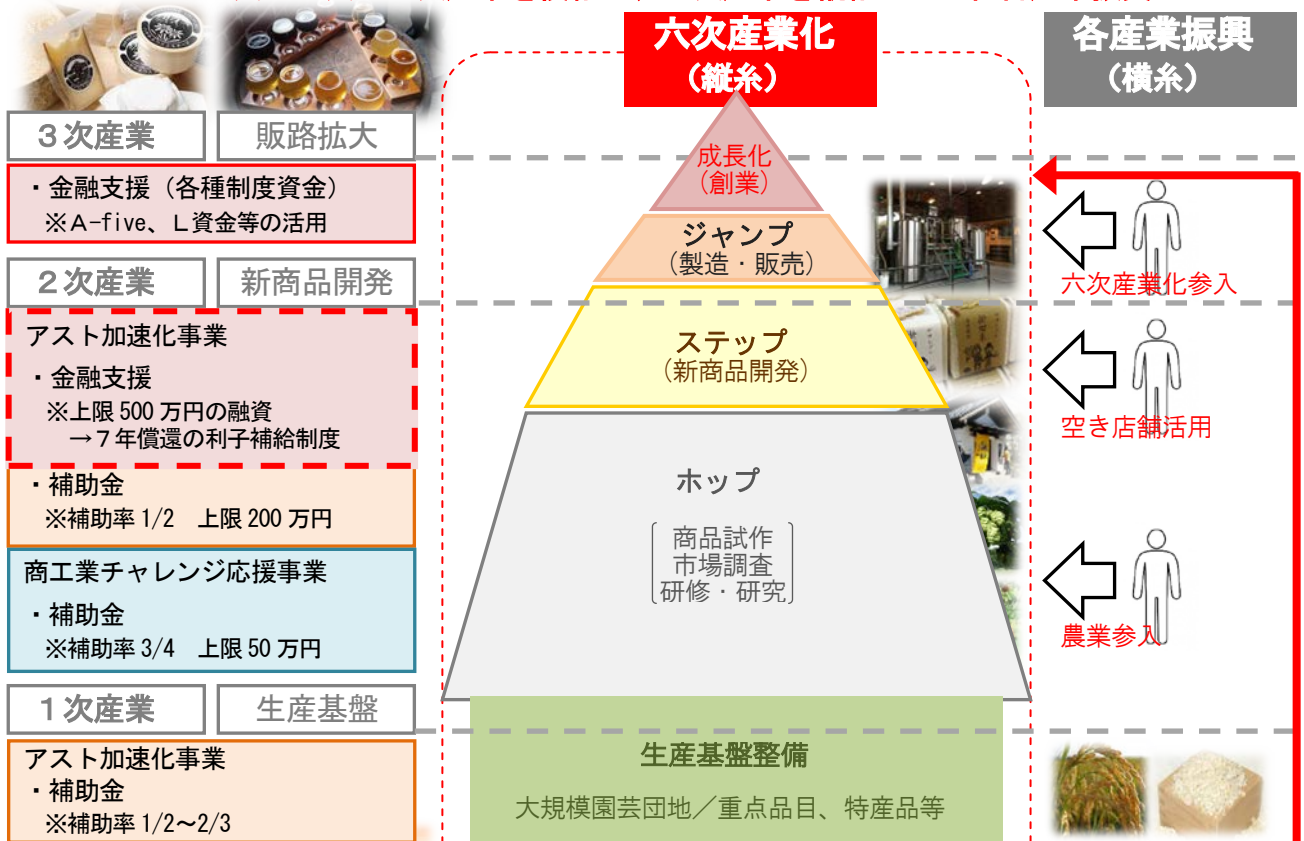
地域資源を活用した新商品開発の加速化に向けて、ワンボイスで発信できる「ふるさと名物応援宣言」を行います。

(平成 28 年度遠野市予算)  
商品開発から起業までの段階別支援施策

# 遠野スタイル6次産業推進事業

## ★ ローカルベンチャースクール

▶ 1次・2次・3次産業を横軸に、6次産業を縦軸とした総合産業振興



### 遠野ローカルベンチャースクール

※ 地域おこし協力隊等の意欲あるプレーヤー（起業を希望する若者）を大都市から招致。六次産業化を含む、1次～3次の各産業分野でのモデル事業として先行

- ▶ 遠野市内で起業するフィールドとなる「移住+起業」のプラットフォームと受皿を整備
- ▶ 地域資源を活用した六次産業化、農商工連携を加速させ、農業参加や新規創業を支援

「移住+起業」  
受皿

インキュベーション  
…人材の受入れと  
起業のノウハウを  
習得

「移住+起業」  
プラットフォーム

**まちの人事部**

人材のマッチング  
…各組織・団体に派遣  
プログラム開発  
中心市街地施設の経営  
空き店舗の活用 …ほか

地域おこし協力隊

10名受入

地域で仕事をやりたい、  
移住したい 都市部の人材



## 遠野市六次産業化・地産地消推進協議会

(事務局) 遠野市六次産業推進本部  
(遠野市農林畜産部農家支援室)  
0198-62-2111 (内線 850-117)  
<http://www.city.tono.iwate.jp>

